

令和六年度大旦町会総会開く

新会長に大槻研司さん（前副会長）が就任

新型コロナウイルス感染が落ち着いたとはいえず、まだまだ油断できないこの一年でした。その中であってお互い感染予防に努め、町会会員各位にご協力をお願いしながら、



挨拶する
鳴原久会長

ら、どうかこの一年間事業を進めてきました。議長には第六班の尾形佐千夫代議員を選出しました。

冒頭鳴原久会長から挨拶があり、特に町会内の来賓として出席されている愛宕神社氏子会、さくら会、桜守の会、桜鼓会の各代表及



平成6年度総会は昨年にもちぎり学習センターで開催

和6年度大旦町会総会



来賓挨拶を行う高野卓東部支所長（右）と萩原太郎福島市議会議員

び三名の民生児童委員のこれまでの活動について詳細に紹介され、その労を労いました。

◇クリーンセンターの新規建設について
◇市民センターの建設について
◇駅東口の整備事業につ

◇岡部交差点の拡張工事について
◇パナソニック工場閉鎖の対応について

役員が改選されました ご支援宜しくお願いします

今回の総会で役員改選があり、会長、副会長一名、総務部長、衛生部長が改選されました。向こう二年間どうぞ宜しくお願い致します。なお、育成部長・副部長については四月六日の育成部総会で決定されます。



会長
大槻研司
（新任）



副会長
鳴原 隆
（新任）



副会長
齋藤浩二
（再任）



副会長
鳴原一雄
（再任）



会 計
齋藤裕信
（再任）



総務部長
原田道久
（新任）



体育部長
佐川祐介
（再任）



体育副部長
渡辺昌広
（再任）



衛生部長
小賀坂孝男
（新任）



衛生副部長
佐々木実
（再任）



監 事
齋藤 修
（再任）



監 事
井上武之
（再任）

新しい情報を提供

総会来賓の方々や鳴原会長から以下の通り新しい情報が提供され、とても参考になりました

◇旧保原街道の歩道整備について
◇鎌田大橋の架け替えにつ

中学校でも頑張るよ みんな有難う！



育成部では三月十日、「六年生を送る会」を開催しました。卒業生に記念品が贈られ、それぞれの六年生から決意と下級生へ激励の言葉が述べられました

健全育成部では、今春めでたく卒業される六年生の送る会を開催しました。卒業するのは九名で、うち七名が参加し、全体で三八名が集まり、賑やかな思い出に残る会になりました。

最初に大槻研司町会長から「月の輪小や三小など、新しい人たちの出会いがあります。早く仲良くなって友達をいっぱいつくってください」と激励の挨拶がありました。

子どもを見守る会の齋藤馨さんからは「自転車事故が多く発生しています。特に春休みには注意して



【沢山お友達を作ってくださいと大槻会長】



【大旦の歴史に触れる齋藤敏正氏子会長】

ください」と挨拶がありました。続いて五年生から記念品が手渡されました。

齋藤敏正氏子会長から「お祭りには皆さんが集まってくれ、とても仲良く楽しんでいました。中学校へ行ってもお祭りには来てください。そして後輩の面倒や、大人との交流を積極的にしてください」と挨拶がありました。また、町会の名称が「大壇」から「大旦」に変わった経緯や、「経塚」のいわれについても話がありました。二年前から卒業生には

「六年生を送る会」

石に自分の好きな漢字を書いてもらい、それを「経塚」に奉納しており、今年も卒業生は各自の思いを込めた漢字を書き、集まった全員が見守る中、経塚に奉納しました。

集会所の二階には大壇開基四百年記念事業の一環として設置した「大旦歴史館」があり、子どもたちにも機会をとらえ大旦の歴史を学んでもらおうと、毎年見学しています。



【みんな一大勢来てくれて有難う。中学校でも頑張るよ！】



【僕はこんな字を書いたよ】

この日も齋藤敏正さんの説明を聞きながら、先人が残してきた大旦の歴史を学びました。最後に、お楽しみのお土産袋が参加者全員に渡され、思い出を胸に散会しました。

育成部役員の皆さんはこの一年間の素晴らしい企画と活動、本当にご苦労様でした。

福島市消防団長より

「優良団員章」授与される

11班・山口弘道さん

21班・菱田顕さん



山口さん



菱田さん

一月六日、福島市消防団主催の出初式が行われました。福島市消防団長から、消防本来の使命達成に精進し他の模範となるとして、大旦町会から二名が「優良団員章」を授与されました。心からお祝い申し上げます。今後とも住民の安全を守るため、益々ご精進ください。



杉ッパ拾い

冬場は強風が吹くと愛宕神社の杉の木から、カラカラに枯れチクチクする葉が沢山落ちる。そんな日は親父から「スギッパを拾ってこい」と命令が下る。大きな籠をもって拾う。大木だから落ちるスギッパはいくらでも拾える。何に使うかって？ 自宅

は藁ぶき屋根で囲炉裏があり、その囲炉裏で火を焚く時に使い、火付きを良くする、所謂「着火材」というところかな。他には風呂焚きにも使った。今も沢山落ちているが誰も拾わない。当時はもったいないと思ったが、今はそう思わない。時代は変わった。愛宕神社に上がると、親父のあの声を思い出す。

【齋藤 馨】